

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587010501	科目番号 / Course code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Course title	a1国際社会と日本経済 / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	成田 真樹子 / Narita Makiko, 岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	成田 真樹子 / Narita Makiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	makki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 511研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	経済活動は国境を超える。輸出入やお金の移動, 労働者の移動などの問題を通じ, グローバル化による効果と課題について理解する。		
授業到達目標/Course goals	・国際的な問題とそれに関連した事象についての現状と課題を把握し, 説明できる (, ,)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1. 授業中の提出物, グループ学習の貢献度, プレゼンテーション (50%), 2. 期末試験 (50%) ただし, 1による評価が著しく低い場合には期末試験の受験資格を失う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 授業中に指示する。 復習: 授業やグループ学習の内容を復習し, 理解を深めること。 (予習, 復習合計で4時間)		
キーワード/Keywords	グローバル化, 貿易, 国際投資		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。資料を配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	世界経済の動向と課題
第3回	世界経済の動向と課題
第4回	国際貿易
第5回	国際貿易
第6回	国際貿易
第7回	為替レート
第8回	為替レート
第9回	地域経済統合
第10回	地域経済統合
第11回	国際投資
第12回	企業の国際化
第13回	企業の国際化
第14回	グローバル化の光と影
第15回	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587011301	科目番号 / Course code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12731_005		
授業科目名 / Course title	a1企業行動と戦略COC / Organizational Decision Making and Strategy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-okada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所3階307室		
担当教員TEL/Tel	経済学部研究室 内線 6-352		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後。事前に質問事項を決めている場合には、上記メールアドレスに、件名に「質問、学生 番号、氏名」を書いて、送ってほしい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業のみならず組織の経営や行動の前提には戦略があるが、戦略決定のためには投資意思決定や業 績評価があり、またその戦略を具体化するものとして利益計画がある。利益は、病院等の非営利組 織と言われるところでも、継続的な経営のためには、不可欠なものであることに注意してほしい。 本科目では、企業行動や戦略の基礎にある管理会計について講義する。なお、具体的な事例として 、大島造船の理事・人事部長による講演及び学習を2コマほど予定している (COC+対応)。下記授業 計画では、9回目と10回目に記載しているが、これは暫定的なもので、講義開始時点では変更されて いる可能性があるため、注意すること。造船所を例にするとはいっても、工学系の内容ではない。		
授業到達目標/Course goals	管理会計の体系を説明できる (、 、 B) 内部統制を通じて、会計上遵守すべきことを説明できる () 基礎的な意思決定や業績評価の問題に必要な情報 (データ) を知り、それに基づいて課題を解くこ とができる (、 、 、 B) 長崎地場企業の具体的な事例に即した課題に対して、主体的に取り組み、相手の意見を傾聴するとと もに、自らの意見を論理的に説明 (プレゼン) することができる (、 、 、 C、D)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	知識の理解を確認するための期末試験 (60点) + 課題に対する取組み (プレゼンテーションを含む) (20点) + 予習や復習 (20点) = 100点のうち60点以上を合格とする		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習 : 毎回の講義で使用する予定の資料をLACSに掲載するので、ここに指示した内容に基づい て、講義の準備をすること (4h) 復習 : 毎回の講義で使用する資料の末尾に記載した内容または講義中に指示する (4h)		
キーワード/Keywords	利益計画と予算、戦略とビジョン、業績評価、長崎県 等		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しないが、あらかじめ (または事後に) 必要な資料をLACSに掲示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。授業の位置づけのところで記載しているように、造船所経営を例として取り上げるが、工学部の学生だけを対象とするものではないし、その知識を前提にもしない。あくまでも「経営」を考える素材として取り上げているだけなので、他学部の人は、自分が所属する学部の立場で自由に考えてほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	電卓を使うことがある
学生へのメッセージ/Message for students	この講義は、管理会計といわれる領域の基礎を対象としているので、数字を扱うことがある。日時は未定だが、大島造船の協力を得て、2回ほど、「造船所と地域貢献」というテーマで、理事兼人事部長による講演とグループワーク、さらにその成果発表をしてもらうので、この回は、無断欠席しないようにすること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	7月10日に予定している第11・12回の講義では、下田憲一氏（大島造船所理事人事部長）を迎える。下田氏は、十八銀行勤務の経験も有している。長崎を代表する銀行及び製造業勤務の経験を基に、現在予定している講演内容は「造船業と地域貢献」である。11回目の時間帯にこの講演を聞いた後、12回目の講義で地域貢献をテーマにしたグループ学習とその発表をしてもらう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	管理会計の概要（経営活動の流れ、会計とは、財務会計との相違、意思決定会計と業績評価会計、営利組織と非営利組織等）
第2回	異なる目的に異なる原価
第3回	利益計画（利益を増やす（損失を減らす）にはどうしたらよいか）
第4回	目標利益と損益分岐点分析（CVP分析）
第5回	原価管理と予算（1）
第6回	原価管理と予算（2）
第7回	意思決定と業績評価（1）
第8回	意思決定と業績評価（2）
第9回	大島造船に関する予備的講義(1)
第10回	大島造船に関する予備的講義(2)
第11回	「造船業と地域貢献」をテーマにした講演（60分程度）。この前提として、大島造船の経営計画（中期計画）の説明などもしてもらう予定である。講演後、質疑、テーマ「地域貢献（仮）」に関するキーワード（思ったこと）等
第12回	キーワードに基づくグループ討論（30～40分程度）と成果の発表（40分程度）、講師による講評
第13回	設備投資意思決定
第14回	監査と内部統制
第15回	講義のまとめ
第16回	定期試験（50分または60分） 都合によっては、レポートに変更することもある

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587012101	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	a1経営情報と会計情報 / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi, 岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 本館 6F 631番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則として講義終了後に受け付けます。別の時間帯を希望される際にはメールにてご相談願います。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ICT技術の進歩により、扱うことが可能な情報の量が爆発的に増加しています。これらの氾濫する情報を経営に役立つ情報として有効に分析・評価する能力は経営戦略上で重要な能力となりえます。この経営情報を効果的に使用するためには適切な意思決定の手段を持つことも併せて重要となります。そこで、問題発見・解決をPBL (Problem Based Learning) 型の講義を通じて科学的経営意思決定方法の基礎を習得することが本講義の目的となります。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・分析を行うための情報を適切に収集できるようになる。(3, B, C) ・組織内の議論に主体的に関与できる。(2, 8, 9, D) ・対立する意見を受け入れ組織の意見へと昇華できる。(5, 8, 9, D) カッコ内の数字等は「全学モジュールの目標および授業編成の視点」と対応しています。「全学モジュール目標および授業編成の視点」については、『全学モジュール科目案内』を参照して下さい。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各回のアイスブレイクで使用するプレゼンテーション用の成果物: 20% 協同学習での発言等による貢献度 : 40% 各講義後に作成する提出物 (ワークシート): 20% 中間時点、および最終報告用に作成するプレゼンテーション等の成果物: 20% なお、5回以上の欠席は失格として処理します。また、遅刻回数が5回を超える者については、成績評価の対象としないことがあります。ただし、やむを得ない事由による欠席・遅刻については、所定の証明書を提出した場合には、当該欠席・遅刻時数について考慮することがあります。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	第1・2回にファシリテーションやアイスブレイクで使われるいくつかの道具 (手法) を提示します。 各グループ最低1回は、提示されたもの等の説明や実演を講義中に行ってもらうこととなります。 事前学習としては講義中に使用する内容の準備 (3時間の学習)。 事後学習として、各回終了後にグループワークの進捗状況のまとめと、それぞれのグループが行った発表等への評価・解説を作成し、学習内容の復習・知識の定着を行います (5時間の学習)。		
キーワード/Keywords	課題発見、ファシリテーション、意思決定、情報の非対称性、KJ法、マインドマップ、AHP (Analytic Hierarchy Process)		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません。参考書は適宜紹介します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	講義時間中に必携PCを使用した作業を行いますので必ず持参して下さい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1・2回 (4/9)	講義（グループ学習）の進め方の説明 チーム分け アイスブレイク
第3・4回 (4/16)	KJ法・マインドマップによるブレインストーミングの学習 アンケート調査の設計
第5・6回 (4/23)	AHP（階層分析法: Analytic Hierarchy Process）についての学習 アンケート調査の実施 調査結果の集計・分析
第7・8回 (4/30)	プレゼンテーション資料作成 中間発表：各グループ6分のプレゼンテーションを行います。 ブレインストーミング
第9・10回 (5/7)	アイデア編集（展開と結合） アンケート調査の設計
第11・12回 (5/14)	アンケート調査の実施 調査結果の集計・分析
第13・14回 (5/21)	プレゼンテーション資料作成 発表練習
第15・16回 (5/28)	最終発表回：各グループ10分のプレゼンテーションを行います。